

まちの話題 文化財防火デー講習会を開催

1月25日（日）に北の町老人憩の家で4地区の「伝建地区自主防災組織連絡協議会」の主催により「文化財防火デー」の講習会が開催され、地元住民41名が防災について知識を深めました。

「文化財防火デー」とは、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺（奈良県斑鳩町）の金堂が炎上し、壁画が焼損したことにより、昭和30年の第1回文化財防火デー以来、毎年1月26日を中心に、全国で文化財防火運動が行われています。

今回は、湯浅広川消防組合の隊員3名を講師に迎え、東日本大震災の救援から得た教訓などを講義いただきました。

その後、建物倒壊からの救命方法として、実際に地元住民が隊員の指導の下、実演を行い災害時の安全かつ早急な搬送方法について学びました。また、憩の家1階の南側倉庫に備蓄してある機材の正しい使い方や点検を行いました。

まち全体が文化財の伝建地区で「文化財防火デー」を通して、住民が防災の知識を深めることはとても大切なことだと感じました。



五月人形展開催決定！

昨年に引き続き「五月人形展」を開催します。詳細については、決まりしだい周知しますのでお楽しみに！！



第9回ゆあさ行灯アート展

■開催日程：4月29日（水）～5月3日（土）
■ホームページ：http://lepo.fool.jp/green/andon/
※詳細については、ホームページをご確認ください。



【保存協議会委員の改選が近づいています】

3月末をもちまして、保存協議会“現委員”の任期が終了します。総会をはじめとする会議の出席や各部会での活動、他地区への視察研修など、2年間ご苦労様でした。各地区で次期委員を選任していただき、4月から新たな体制でスタートをきりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思ひます。ご意見・ご要望などございましたら、保存協議会委員まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

編集委員

楠山	吉雄
半邊	宗五
妻木	禎子
道津	節子
齋藤	春太郎

まちなみ瓦版

■平成27年3月2日
■第26号
■発行：湯浅伝建地区保存協議会
■発行責任者：木下 智之

「きりえ館」についてご紹介します！

前号で掲載した「きりえ館」についてご紹介します。「きりえ館」は平成26年度で修理・修景工事を行った北町「木楽庵」で開館されています。

展示されている切り絵は、切り絵作家の岩本正秀さんの作品で湯浅の町並みはもちろんのこと、大自然や干支を題材にしたものなど、臨場感溢れる作品の数々が展示されています。

湯浅伝建地区の新たな拠点として、観光客だけでなく地元住民の交流の場としても活躍しています。

岩本正秀さんよりコメントが届いていますのでご紹介します。



湯浅の町並みを切り絵にしたきっかけは、北町の津浦さんの依頼で「津浦家」を作品にしたのが始まりでした。

「きりえ館」は、家主の加納さんから声を掛けていただき、一人では難しいので断念しようと思っていたところ、仲間の協力があって開館に至りました。

これから作品展示だけでなく、来訪者の方に切り絵の製作体験など、切り絵をより楽しんでいただけるような企画も考えています。やりたいことが色々あって時間が足りないのですが、ご期待ください！

「きりえ館」での活動を通して、私の切り絵を知っていただくと共に湯浅伝建地区のまちづくりに貢献できればと思っています。

お知らせ

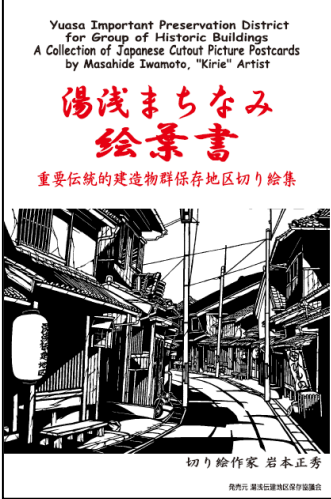
『湯浅まちなみ絵葉書』が完成

伝建地区に訪れた方々の記念になるものがほしいと考え、岩本正秀さんの協力を得て「湯浅まちなみ絵葉書」を保存協議会で作成しました。

風情ある湯浅の町並みの切り絵12作品を絵葉書にし、きりえ館や甚風呂などで6枚ずつ2種類のセットを各500円で販売します。

町内の方は遠方の知人のお便りに。湯浅に来られた方は、湯浅のお土産に旅の思い出話と一緒にどうぞ。

■作品名：大仙堀、湯浅まちなみ交流館、加納家、太田久助吟製、津浦家、竹林家、北町通り、甚風呂、角長、木下家、旧赤桐家、栖原家



学びの様子

山田・田栖川・田村小学校5年生が伝建地区を散策

1月27日（火）に町並み散策を通じて湯浅の歴史と文化を学び、また3校の親睦を深めるための学習会が行われました。クイズ形式のウォークラリーでは、地元の方からヒントをもらいながら、クイズの答えを見つけるため町並みを駆け回りました。

散策後の感想では、「思わぬ所(小路)に答えがあり難しかった」や「湯浅の町並みには古い建物がたくさん残っていてすごいと感じた」など関心をもった様子でした。

その後、熊野古道を歩き、「熊野古道」や「立石道標」、「大地震津波心得之記碑」などの歴史について学びながら深専寺へ向かいました。深専寺では「聖護院御殿」や湯浅から移築された「醍醐寺金堂」について、深専寺 松下副住職と湯浅町教育委員会 垣内教育長から説明を受けました。

また、この3校合同の修学旅行では、京都の「聖護院門跡」へ宿泊し、「醍醐寺金堂」を見学する予定だそうです。

地元子どもたちが湯浅の歴史や良さを知る機会をもつことは、とても良いことです。



湯浅小学校3年生 甚風呂見学

2月3日（火）、6日（金）に湯浅小学校3年生の児童がそれぞれのクラスに分かれて、甚風呂へ社会見学に訪れました。

社会科学習『今にのこる昔とくらしのうつりかわり』において、昔の生活の様子や道具の使い方を理解し、人々の知恵や生活様式の変化について考えることを目的としたもので、毎年、甚風呂で行われています。



また、スタッフの説明を一生懸命聞きながら、「この道具の使い方はわかりますか？」という問いかけにも積極的に手を挙げて答え、昔の人の暮らしにとっても関心を持ちながら学んでいました。



活動報告

龍野まちづくり協議会伝建部会が来訪

2月1日（日）に兵庫県たつの市の「龍野まちづくり協議会」の伝建部会20名が湯浅伝建地区を訪れました。龍野は、湯浅と同じ醤油の醸造で栄えた町で、一昨年、湯浅伝建地区保存協議会が視察に訪れ、住民たちで開催している町並みを活かしたイベントについて学びました。

協議会の中の伝建部会は、3年前に重伝建地区の選定を目指して立ち上げられ、今回の視察は同じ特徴の町並みが遺っている湯浅に選定までの取り組みを学びたいと来訪されました。

午前中は、ボランティアガイド案内のもと、「角長 職人蔵」や「湯浅まちなみ交流館」、「甚風呂」など伝建地区を視察されました。

午後からは、湯浅伝建地区保存協議会との意見交換会を行いました。湯浅が重伝建地区の選定を受けるまでの取り組みなどについて予定時間を大幅にオーバーするほど、たくさんの質問がされ、重伝建地区選定に向けての強い意気込みが感じられました。



『ひな人形展』がテレビ和歌山に取り上げられました！

2月11日（水）に「テレビ和歌山」で『ひな人形展』が生放送で取り上げられました。撮影は甚風呂で行われ、保存協議会の木下会長がレポーターの山本愛子さんと『ひな人形展』と『湯浅伝建地区』の魅力を伝えました。下記のテレビ和歌山ホームページに紹介されていますので、ぜひご覧ください。

また、撮影の影響もあってなのか、町並みを活かしたイベントとして各新聞社にも取り上げられ、『ひな人形展』だけでなく湯浅伝建地区を多くの方々に知ってもらう良い機会となりました。

【テレビ和歌山ホームページ】

<http://www.tv-wakayama.co.jp/>



(左)レポーター 山本愛子さん
(中)保存協議会 木下会長
(右)WTV 報道部 佐藤瑞穂さん